

(前頁より)

私は診療情報管理士の資格を3年前に習得し、かなり勉強しましたが、さらに自分の視野を広げることができる内容でした。講義の中で、どの先生方も「医師は医師事務作業補助者をとても必要とし、そして期待している仕事である」と何回も言っておられました。その思いが本当によく伝わり、単に嬉しい思いと、医師の期待に応えなければというプレッシャーが交錯しつつ、この仕事に対してのやりがいを感じることができました。私の業務は医師事務作業補助者の総括管理です。何も無いところからスタートし、まだまだ完全ではありません。

今回の講義で、実際に医師事務作業補助者の体制を構築された先生方の話を聞くことができ、大変参考になりました。この講習会で得たものを当院での構築に役立て、医師の業務負担軽減を目指したいと思います。4日間ありがとうございました。

## 支部学術集会開催報告

### 第11回茨城県支部学術集会

学術集会会長：茨城県立中央病院院長 永井秀雄



クリティカルパス展示発表風景

第11回茨城県支部学術集会は、2010年11月6日(土)茨城県立県民文化センターにおいて、メインテーマを「医療の質と安全対策」として、関係者を含めて530名が参加し開催されました。

特別講演では、聖路加国際病院長の福井次矢先生より、「医療の質を測り改善する」のご講演をいただき、教育講演では、電気通信大学大学院情報システム研究科教授の田中健次先生より「医療作業における安全対策の落とし穴」のご講演をいただきました。パネルディスカッションでは「負担のない医療安全対策」と題し、6医療機関のリスクマネージャーより、各医療機関での医療安全対策について発表されました。

一般演題(口演)では56題、クリティカルパス展示・発表では51題といずれの会場とも充実した研究発表と、職種の枠にとらわれない活発な討論が行われました。

本会の開催にあたり関係各位の皆様には多大なるご支援、ご助力を賜り感謝申し上げます、開催の報告とさせていただきます。

### 第8回石川県支部学術集会

当番世話人：やわたメディカルセンター副院長 勝木達夫

2010年11月7日(日)、石川ハイテク交流センターにおいて、第8回石川県支部学術集会が152名の参加をいただき開催されました。テーマは「信頼される医療～医療者と患者・社会とのよりよい関係を目指して～」でした。一般

演題9題では地域連携クリティカルパス、感染対策、NST、医療情報など興味深いものが発表されました。今大会の特別企画として北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科の先生方をお招きし、知識科学特別セッションを開催しました。「患者の知を活用しよう」を梅本勝博教授が、「医療現場をつぶさに観察するー文化人類学の視点からー」を伊藤泰信准教授がそれぞれ



会場風景

ご講演されました。特別講演には新葛飾病院医療安全対策室セーフティマネージャー豊田郁子先生をお招きし「患者・家族が望む医療事故の院内対応」と題して、「うそをつかない医療」を目指す熱いメッセージをいただきました。ご支援助ご協力に感謝申し上げます、開催報告とさせていただきます。

### 第9回山口支部学術集会

学術集会会長：済生会下関総合病院院長 津江和成



会場風景

2010年11月20日(土)、第9回山口支部学術集会を今年の3月に完成したばかりの下関市生涯学習プラザにおいて開催し、約300名が参加しました。

本学術集会のテーマとして「医療における経済性について」を掲げ、一般演題(口演)8題、(ポスター)12題の他、シンポジウムおよび特別講演を行いました。

シンポジウムでは「当院における経済性について」というテーマで4題、各病院の取組みの事例発表がありました。

また、特別講演として、産業医科大学教授の松田晋哉先生に「DPCと急性期病院のこれから」という演題で、下関医療圏を中心とした最新のDPCデータを元に、とても興味深い内容についてご講演いただきました。

今回は参加者の皆さんが多く学びを得ることが出来、とても有意義な学術集会であったと思います。改めて発表者、参加者およびご協力していただきました皆様に感謝申し上げます。

### 第6回愛知県支部学術集会

当番世話人：名古屋第一赤十字病院副院長 宮田完志



会場風景

2010年11月27日(土)、名古屋ルーセントタワー16階会場において第6回日本医療マネジメント学会愛知県支部学術集会が開催されました。「Best Quality and Safety」をテーマとし、特